

野田佳彦内閣総理大臣が視察に訪れました。

11月17日（土） 野田首相は、地下1階にて、マシンクラフト科1学年の旋盤や鋳造の実習を見学した後、アートクラフト科の鍛金室において、2学年生徒による指導で、銀の携帯ストラップづくりを体験しました。生徒の制作した作品も見いただきました。

その後、3学年グラフィックアート科の教室において、「夢と志」について生徒に向けてスピーチをしていただきました。「皆さんにはこの学校で学びながら、ぜひ志を固めていっていただきたい」「この伝統ある工芸高校で学ぶことは、日本だけでなく世の中全体、世界全体に役に立つ仕事を見つけるチャンスになる」「ものづくりは日本の得意分野。ものづくり現場での技術の向上が日本製の評価につながってきた」と述べ、「すぐれたデザインが伴うことで品質の良さにさらなる価値の高まりをプラスすることにもなる。」「皆さんにはぜひ、世の中の役に立ちながら、世界に浸透するような“もの”を作り出していくという志をもっていただきたい。」とお話しくださいました。

また、「素志貫徹」という言葉を板書し、「素朴にこんなことで世の中に役に立ちたいと思う気持ちを大事にし、ずっと持ち続けることが人生を大きく変える」「『こんな分野でやってみたい』と思うイメージを大事に持ち続けてほしい」、「常に志をいだきつつ、懸命になすべきをなすならば道は必ず開ける」とお話しくださいました。スピーチ後にデザイン科3学年の生徒が制作した、野田首相の似顔絵をプレゼントしました。

最後に、生徒会役員と前生徒会長、23年度のグラフィックアート科の卒業生、PTA会長との懇談が行われ、「夢と志」について意見交換をしました。

#### ☆野田首相のブログから☆

17日の土曜日には、都立工芸高校にお邪魔いたしました。デザインともものづくりを融合させる新たな取組を進めている特色ある高校です。しっかりと将来を見据え、前へ進もうとしている高校生たちのひたむきな姿に接し、私からは、志を持って歩もうとする若者たちへメッセージを伝えました。



生徒に向けてスピーチ



生徒との懇談